

学芸

創立 100 周年

祝

Graduation Certificate

CONTENTS

- 会報「学芸」百周年記念号 発行にあたり 2
- 会長 和田 貞夫
- ご挨拶 2
- 理事長 井内博見
高校校長 鍋谷安宏
中学校長 若野房夫
- 行事報告 4
- 成器 30 明会の総会 6
- 第 3 回東住吉支部総会 6
- 教職員OB会 6
- 同窓生短歌 7
- 同窓会活動報告 7
- 青年部活動報告 8
- 創立百周年に当り学園に金 500 万円寄附 10
- 「学園関係物故者之歿慶祝」の建立を検討 10
- 新刊「会員名簿」発行 10
- 半期行事のご案内 11
- 修学旅行の今昔 11
- 平成 15 年度同窓会への募金方お願い 12
- 総事 12
- 会報 12
- 募金者芳名録 13
- 平成 13 年度 13
- 決算報告 14
- 年会費納入についてのお願い 15
- あとがき 16
- 平成 15 年度総会及び想親会のご案内 16

第 8 号
2003



成器学園同窓会
大阪学芸高等学校

会報学士百周年記念号発行にあたり



同窓会会长 和田貞夫

昨年は小泉内閣が発足以來初の国政選挙として起居選が行われました。衆院選挙の大規模になつてゐるアフレ対策として年末には政府が「不良債権処理の加速策」とそれに伴う「中小企業対策」「雇用対策」などを柱とする総合アフレ対策の基本方針を決め、整備回取機構とは別に産業再生委員会の設置をしました。

日経書記が認めたため、日本にとっては拉致問題の

解決が最優先課題であり、核開発の即時停止の実

現は日本韓三國の安全保険問題として、何れも交渉の前提となり、日朝国交正常化交渉に暗い陰り

を引くことになりました。

又国連安全保障理事会のイラクの大弾道兵器

査察を入れ決議をイラクが否認しましたが、査察の

解釈に隔たりがあるため今後の展開を注視深く見守つ

て行く必要があります。(このように国際的な動きは

油断がなりません。

いよいよ私たちの母校が本年六月に創立百周年を迎えることになります。

校祖遠藤三吉先生が明治三六年(一九〇三年)

六月に大阪市浪速区貝塚町(後に馬刺町と改称し、

現在は戎本町「丁目」)の地に母校の成器商業学校

を創設されてから百年という記念すべき年を迎えることになりました。爾来明治・大正・昭和・平成

と四時代に亘り、約三万名の卒業生を輩出し、遠

藤先生の教えは今もなお受け継がれています。

またそれらの卒業生たちは政界・官界・経済界・

労働界・宗教界・芸能界・スポーツ界等多岐に亘つ

て活躍され、名を挙げられて多くの功績を残してこ

らました。

古い卒業生として川柳の岸本水府先生(一部4

期生・明治42年卒)、高野山金剛峰寺元管長の森

寛紹翁(一部7期生・大正10年卒)、喜劇俳優の曾

我造家明媒師匠(一部22期生・昭和2年卒)等が挙げられます。私の在校時代は「相撲の成器」「フロバの成器」「弁論の成器」と云われ、相撲、珠算、弁論は府下ではもとより、全国的にも名を轟かせていました。

相撲の黄金時代に全国制覇(昭和12年)を果した古田 隆・井上 清・下村慶次(何れも33期生)の三氏や阪神タイガースの名投手尾崎忠義(33期生)氏又珠算日本一の橋本幸太郎(35期)氏等の活躍も偉大なものでした。

私は成留學園卒業生としての誇りを持っています。その一つは百年の歴史を持つ学園であることです。遠藤三吉先生が成器商業学校を浪速の地に創設されて百年の歴史と三万名の卒業生を有する学園であります。

かつては関西経済界の一流クラスに卒業生の顔がズラリと並んだり、中小企業の社長や重役の名がつくものが三百名以上に及んだ時代もありました。

二つ目は遠藤三吉先生が成器商業学校を創設されて七年目の明治四十三年(一九一〇年)に夜間の甲種商業学校(一部)を全国で初めて併設されました。勤労青年に勉学の道を開かれたことであります。全国初の甲種商業学校ですから全国各地から勉学を志す勤労青年が多く集り大学進学を目指すもの、社会へ派出するもの等優秀な卒業生を数多く輩出して社会で活躍してあります。

そのような学園の気風でありますから、私立学校にありがちな「寄付金集め」をしない学校として珍しい存在がありました。

それがために卒業生が社会に出て自主的に学園に寄付をする伝統を持つていたと思います。

遠藤先生が創設された成器商業学校の校舎は第二次世界大戦の戦災で焼失し、現在の住吉区長居に建設されたのですが、旧校舎跡は見る限りなく住宅街に化しています。

地名も浪速区戎本町「丁目」になっています。たまたま同所会員で高校13期生の宮田朋治さんや、近所に住む高校11期生の水野薫穂さん、それに私の知己である浪速区選出の辻洋一市議員らの協力を得て、百周年記念行事の一環として同地に「成器商業学校跡」の碑を建立する計画を現在すすめているところです。百周年記念事業に窓会あけて協力したいと考えていますので、みなさんの積極的なご協力を記念行事を盛り上げてくださいと存します。

さだ第一に、今年は本校創立百周年を迎える年であることです。本年は遠藤三吉初代校長が明治三十六年(一九〇三年)に本校(当時成器商業学校)を創立されて以来一百周年というめてたい記念すべき年を迎えることになります。本校は大阪府下の私立校九十三校中一番目の古さで創立されました。この間幾多の困難、障害を乗り越えて、今日に至った訳ですが詳細は平成十五年未頃発刊予定の「百周年史」をご覧頂きたいと存じます。

今年のこの百周年を期して、さらなる飛躍と発展をめざし、本校の基礎を礎石ならしめ、「十一世紀を生きぬいていくため、学園の組織、教育指導体制、優秀な教職員の確保、充実、進歩実績等で他にない特色、何かキャラクターあるものが本学園から感得されるものでなければならない」と思っています。

百周年の記念式典、祝賀会は平成十五年十月二十五日(土)帝国ホテル大阪で開催する予定であります。

第五は学園施設の状況について述べます。

現在学園全体の教室数は五十一教室です。これに対し現在の学級数は四十九クラスで余力は三教室しかない状況です。(これは平成十五年十五クラスとなる)、たちまち四教室が不足する状況です。



ご挨拶 理事長 井内博見

地名も浪速区戎本町「丁目」になっています。たまたま同所会員で高校13期生の宮田朋治さんや、近所に住む高校11期生の水野薫穂さん、それに私の知己である浪速区選出の辻洋一市議員らの協力を得て、百周年記念行事の一環として同地に「成器商業学校跡」の碑を建立する計画を現在すすめているところです。百周年記念事業に窓会あけて協力したいと考えていますので、みなさんの積極的なご協力を記念行事を盛り上げてくださいと存します。

さだ第一に、今年は本校創立百周年を迎える年であることです。本年は遠藤三吉初代校長が明治三十六年(一九〇三年)に本校(当時成器商業学校)を創立されて以来一百周年というめてたい記念すべき年を迎えることになります。本校は大阪府下の私立校九十三校中一番目の古さで創立されました。この間幾多の困難、障害を乗り越えて、今日に至った訳ですが詳細は平成十五年未頃発刊予定の「百周年史」をご覧頂きたいと存じます。

今年のこの百周年を期して、さらなる飛躍と発展をめざし、本校の基礎を礎石ならしめ、「十一世紀を生きぬいていくため、学園の組織、教育指導体制、優秀な教職員の確保、充実、進歩実績等で他にない特色、何かキャラクターあるものが本学園から感得されるものでなければならぬ」と思っています。

百周年の記念式典、祝賀会は平成十五年十月二十五日(土)帝国ホテル大阪で開催する予定であります。

第五は学園施設の状況について述べます。

現在学園全体の教室数は五十一教室です。これに対し現在の学級数は四十九クラスで余力は三教室しかない状況です。(これは平成十五年十五クラスとなる)、たちまち四教室が不足する状況です。

して、新しくスタートを切ることになりました。

一九九九年に「学校教育法」が改正され、その第一条に「中等教育学校」が加えられました。また全国でも教科しかないと新しい時代に即応した六年一貫教育の学校の誕生です。丁度百周年に当る平成十五年四月を期してスタートします。学園卒業後は、専門学校や大学への進学が可能になります。

第三は生徒募集状況について述べます。

平成十四年ににおける生徒募集状況は三年制高校で志願者数千七百六十名、合格入学者が五百九十七名、十三学級となり、三年制高校だけで生徒数が一千二百五十六名となっていました。

中高一貫の六年制課程も順調に募集が進み約一倍の実質競争率で百四十一名が入学を許可されました。六年課程の生徒総数は六百九名で高三課程と合算すると生徒総数は千八百六十五名になり、昨年より三百三十五名増加しました。少子化が急速に進む中において、しかも不況の最中に拘らず、学費の高づく私立である本校へ生徒が沢山きてくることは本当に貴重なことです。学園関係各位のご努力の賜物であると感謝しているところであります。

第四は進学状況について述べます。

平成十四年の三年制高校の方では国公立合格者十一名、難関私立大学へ五十名、近畿甲斐へ八十名その他を含め私大へ百十一名が合格しました。中高六年課程は国公立へ(十五名)、難関私立大学へ百一名その他の中大へ百三名が合格、学園全体で国公立へ三十六名、難関私立大学(早大、慶應、上智大、日本大、青山学院大、関大、関学、同志社、立命館)へ百五十一名、産近甲龍へ百一十六名が合格しました。特に国公立の中で京大一名阪大二名神戸二名等有力な国立大学への入学者を見たことは本校の進学校としての目標が一步一步着実に進んでおり延びてあると思われます。

学園全体としては、国公立の中で京大一名阪大二名を合格させることを面的目標として努力している所であります。

そのため急便、印刷室、美術室、書道教室、会議室等を教室に変更する必要が出てきました。現在の高校二年生のクラス数が八クラスなので、平成十五年高二課程入学者が十五クラスとなるならば七教室増やす必要があるのです。

一方本校の学則定員は今まで千四百八十名（大阪府が認めてる定員数）でしたが平成十四年三月に河南町総合グランドから徒歩五・六分の所にある千二百八十坪のグラウンド用地（ソフトボール場として利用できる）を購入し学則定員を三百名増員方申請し、新学則定員千六百八十名（この定員を基準に補助金が交付される）が承認され、経営の安定に資するものとなりました。

第六回 賛金状況について述べます。

平成十四年十一月三十日現在四七八〇、五九、四三一千円になりました。募金運動は本年六月末日まで実施されるので最後の追い込みを期待したい。既に同窓会から五百万円を頂戴した。P.T.Aからはマイクロバス（六百万円相当）を現物で寄付頂いた。いずれも厚く御礼を申し上げたい。

第七回 まとめと申します。

以上種々申述べましたが以上が学園の近況であります。色々と確実に学園は発展向上しているといえます。この勢を持続し更なる発展を期待したいと考えますので同窓会諸氏の「設立」「支援」「協力をお願い申し上げ、私のご挨拶とさせて頂きます。

鍋谷 安宏
高等学校 校長
(三年課程)

平成十五年同窓会会報「学芸」No.8の発行並びに成留学園同窓会の「暖昌を心からお喜び申しあげます。

平素は本校教育の発展のために、同窓会の皆様から力強いご支援を賜り深く感謝申し上げます。大阪学芸高等学校は、旧制器械商業学校創立以来数えて百年目を迎へ、益々意氣盛んでございます。

平成十五年度同窓会会報「学芸」No.8の発行並びに成留学園同窓会の「暖昌を心からお喜び申しあげます。

平素は本校教育の発展のために、同窓会の皆様から力強いご支援を賜り深く感謝申し上げます。大阪学芸高等学校は、旧制器械商業学校創立以来数えて百年目を迎へ、益々意氣盛んでございます。

平素は本校教育の発展のために、同窓会の皆様から力強いご支援を賜り深く感謝申し上げます。大阪学芸高等学校は、旧制器械商業学校創立以来数えて百年目を迎へ、益々意氣盛んでございます。

大阪学芸中学校（六年課程）第一期生 平成14年大学入試結果

卒業生徒数 98名 (特進クラス30名 進学クラス68名)

平成14年3月30日(土)現在

国公立大学		関西同立		医歯薬		中学校	
京	大	大	大	西	大	大	大
大	大	大	大	西	大	大	大
大	大阪	立	立	医	科	大	大
大	市	立	立	歯	科	大	大
大	府	教	育	薬	科	大	大
天	阪	女	子	医	系	大	大
大	阪	国	語	歯	系	大	大
大	阪	外	大	薬	系	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大
大	阪	大	大	医	部	大	大
大	阪	大	大	歯	部	大	大
天	阪	大	大	薬	部	大	大</

行事報告

平成14年度

定期総会

懇親会が開催される



平成14年度 総会出席者

平成十四年五月十八日（土）午後二時より本校の会議室にて定期総会が四二名の出席者で開催された。

司会の金谷副会長が「開会の挨拶」をし、和田会長の「会長挨拶」と続く。井内理事長の「来賓挨拶」に続き鍋谷校長の「学事報告」、そして議長団の選出と

議事項に進む。

一号議案「平成十四年度行事計画予定（案）」を西野副会長が一括説明し、掌手にて承認可決する。関連する内容と流れから、ここで再選された渡壁募金事業本部長（顧問）の今年度の募金指針の話を挿入し次の協議に移る。二号議案「平成十四年度予算（案）」の説明を井原会計がし、これも全会一致で可決する。三号議案「役員・委員人事について」は和田会長から役員委員の一部改選と相談役を顧問に統一することなど説明があり、これも全会一致で賛成可決する。四号議案「創立百周年記念お祝い金について」は和田会長より経過説明があり、五百万円

なる。昨年同様に議長に米田副会長が、副会長に寺下副会長（青年部部長）が選出され、まもなく報告事項から入る。まず「平成十三年度行事報告」を西野副会長がし、「同決算報告」を井原会計（副会長）が、「同監査報告」を本田監査がする。続いて「平成十三年度青年部活動報告」を北村前青年部副部長が「平成十四年度青年部行事予定（案）」を徳山青年部企画委員がし、それらの補足説明を寺下青年部部長がする。まとめて報告事項の質問もなく承認を得、いよいよ協

議親会の会場にそれぞれが向かう。

同日の午後四時からJR長居駅寄りにある長居パークホテルにて、いわゆる春の懇親会を開催する。総会時の参加者の大半は出席し若干の増員を見、四五名の集まりであった。

会場の雰囲気が先程と異なり、和やかな華やいだ気分は成器同窓会の懇親会そのものである。司会はやはり名人芸、金谷副会長であり軽妙に「開会の挨拶」から始まる。そして「会長の挨拶」理事長の「来賓の挨拶」と続き、鍋谷校長の「乾杯」で宴会に入る。

暫くしてから「吹奏楽部による演奏」が始まり交歓の場を一層盛り上げ、大矢監査の「新旧校歌の齊唱」で全員肩を寄せ合う。大学生の若人から齢八十の同窓生が大きな輪を築き同じ学びやの校歌を声高らかに歌うのは本当にいいものである。

音も止み輪も解かれグラスの泡も消え

る頃、同窓会名物「万歳三唱」を藤井顧問がし、渡壁顧問の「中メ」がそれに続く。最後に司会の「閉会の挨拶」で平成十四年度の懇親会も無事閉会した。

主なる変更箇所は足立前理事長と松村

関東支部長そして連絡務委員長、米田弘

常任幹事長の四氏が副会長になり、大矢・

藤田両副会長は会計監査と総務委員に回ったことあり詳細は省略する。ここで議長団が退座、司会に代わり田仲副会長の「閉会の挨拶」で総会が予定通り終了、

副会長 西野仁彦

大阪の夏の風物詩「天神祭り」船戸御を観覧しながらの懇親会を昨年、一昨年に続き今年も七月一五日（木）午後六時から中央区天満橋キャッスルホテル内の中華料理店・錦城閣に於いて三十名の参加者のもと賑やかに催しました。

中国の方の参加者等、船渡御を初めて観られる方もあり楽しく時間の経つのを忘れて過ごさせて頂きました。

今回は室内と一緒にしたので、天満宮へお詣りして帰ろうと天満橋を渡つて行くと稚児行列に出会い浴衣、ハッピ掛けの子供達や外人連の行列、其の最後尾には美しく花飾りをした和牛が歩いていました。その後ろについて行きましたが残念ながら天満宮へは時間制限があり、お詣りは又の機会になりましたが我々夫婦としては暑い中、楽しい一時をもたらして頂いたことに感謝致しております。

天神祭り観覧会に参加して

靈峰高野山への 一泊旅行



普賢院前にて

毎年催行されております同窓会の懇親旅行に今年は久しぶりに参加させて頂きました。本年は夏の猛暑の加減かもしれませんが涼しさが思つた程ではありませんでした。

しかし、大阪に比べて十度以上も涼しいケーブルの山上駅に到着して来て良かつたと安堵感がありました。早速、宿坊の普賢院に上がり一服のお茶を頂いて少々休みました。

翌朝は全員で早朝の勤行に参加。学園関係の物故者の靈、又参加全員はそれの「ご先祖の靈を俗界よりはなれて心より念じました。記念撮影をすませて奥の院へとバスでお詣り、続いて出で湯の里高野模の湯温泉へと秘境に湧き出づる湯につかり昨夜の宴の疲れをとり、昼食は天然の鮎の塩焼きを賞味して個人個人思い思いの脱都会の時を過し、高野山上駅まで全員無事に到着しました。来年も昨年同様に催行の予定ですので皆様方のご参加お待ちいたして居ります。

尚、参加ご希望の方は同窓会事務局まで一報下さい。

毎年お世話になっている普賢院前住職、

故森寛紹氏は成器商業一部七期生（大正十年卒業）で金剛峰寺の第四六四世座主を勤められた方の自坊で現在はお孫さんの森寛勝師（高野山大学教授で医学博士）が住職されている。

副会長 足立好一

心を鎮めていると和田貞夫会長がご到着とあって「今日は大阪学芸の同窓会の行事に参加しているのだな」と実感が湧いて参りました。会長はいつも乍らの笑顔と全員を彷彿させる何ものかがあります。

夕食会は和田会長ご挨拶、井内理事長ご挨拶、そして乾杯と和やかに全員が時の立つのも忘れ長時間に亘り夏の夜の宴が続きました。

翌朝は全員で早朝の勤行に参加。

学園関係の物故者の靈、又参加全員はそれの「ご先祖の靈を俗界よりはなれて心より念じました。記念撮影をすませて奥の院へとバスでお詣り、続いて出で湯の里高野模の湯温泉へと秘境に湧き出づる湯につかり昨夜の宴の疲れをとり、昼食は天然の鮎の塩焼きを賞味して個人個人思い思いの脱都会の時を過し、高野山上駅まで全員無事に到着しました。来年も昨年同様に催行の予定ですので皆様方のご参加お待ちいたして居ります。

尚、参加ご希望の方は同窓会事務局まで一報下さい。

毎年お世話になっている普賢院前住職、

故森寛紹氏は成器商業一部七期生（大正十年卒業）で金剛峰寺の第四六四世座主を勤められた方の自坊で現在はお孫さんの森寛勝師（高野山大学教授で医学博士）が住職されている。

百周年を目前にした 秋季懇親会

副会長 上野寅次郎

平成十四年度秋季懇親会が十一月十六日（土）午後六時より千日前「ニユーミュンヘン南大使館」にて開催された。

学校より、専務理事・校長・理事・教職員・PTA役員十五名・会員四十五

名の出席をえて、定刻の六時より、司会金谷副会長開会宣言、和田会長より「百周年記念」に絶大なる協力をする旨と学校発祥地に碑を建立、学園関係者の全物故者を合祀する「学園関係物故者之慰靈碑」を建立すること等々の挨拶に統じて、測上英範専務理事より学園報告と百周年記念行事の概略と平成十五年度より中学校（六年制）が百周年の記念すべき年に大阪府下の私学で第一号となる中等教育学校に新たに設立される等々分かり易い説明とご挨拶を賜った。

引き続き鍋谷安宏校長の威勢のよい乾杯の音頭により宴会が開会された。

第二部も名司会の金谷副会長により大変盛り上げて頂き、頃合になると例年通りコロンビアレコード所属林田麻友子さんに出演してもらつてカラオケで歌曲・デュエットで数曲と大いに楽しませて頂いた。

次いで校歌斉唱後、足立副会長による中メの万歳三喝、田仲副会長の閉会挨拶で盛会裡に幕を閉じた。

成器学園同窓会秋季懇親会



「本年は百周年を記念すべき年にあたりますので、同期同窓会を兼ねて頂き、多数のご出席をお願い致します。」

39期会総会を開催



成商39期会総会後の懇親会

一部39期会（成器商業学校一部39期昭和19年卒業）の総会が久方ぶりに十月二六日（土）十一時三十分から学園の会議室で開催されました。今回は十八名の参加者でしたが、「入院中」とか「足が不自由のため」とかで不参加の通知が一二名あったとのことです。更に特記すべきことは今回の総会を開催するための手続き中に四九名の物故者が判明できたことだそうです。

総会はまず細川世話人代表のあいさつのあると、和田世話人（同窓会々長）から同窓会活動の現状報告がなされ、続いて山田泰男高校教頭より学事報告と学園の現況報告をうけました。

物故者が増えて行く年々に達していることから、「毎年一回でも二回でも集まる計画を樹てて、出来るだけ参加する努力をしよう」と申し合せて総会の幕を閉じた

七〇

総会終了後学園の屋上から学園の全貌を展望し山田教頭から説明をうけた。

記念撮影の後会場を子園近くの「御用」に移し、約二時間にわたり「積る話し」に花を咲かせ、よく呑み、よく喰べて懇親を深めました。

第三回 東住吉支部懇親会が開催される

東住吉支部長
西野仁彦

平成十四年八月二十五日(日)午後六時より難波道頓堀ホテルにて、第三回東住吉支部同窓会の総会及び懇親会が井内理事長及び和田会長がご出席のもと開催

本会は平成十年八月三十日(日)に第
一回(二九名参加)を、平成十二年八月

二十七日(日)に第一回(十五名参加)
開催しているが、今回は十名(井内・和
田・西野・吉田・鬼追・東川・鞍内・朝

田・児島・米田)の参加で二つのテーブルにそれも余裕をもって納つた。それ程、寂しい状況であつたが用意した冊子内の

式次第に従わざるを得なかつた。

「計報告」を監査代行がし、再び小生が「東住吉支部の取り組みについて」を説明した。

記念写真撮影もあつさり終了し、吉田
顧問の「乾杯の音頭」で宴会に入る。藍
くし司会者が全員にマイクを回し、自己
紹介と近況報告などをするが意外にそれ

今年から未成年会員は経済的にも法的(飲酒)にも無理という判断で案内せず、役員や関係者にその分を案内する。今回も七百枚の往復葉書を準備し、会員の残りを効果的に他の所に案内状を送るが、十名の出席と九二通の返状は想像以上の厳しさを痛感させられる。先駆けとして大いに研究し改良と工夫をしなければならないし、この情け容赦ない非情の現実を是が非でも打破しなければならない。モテル支部だから経済支援もあり順風満帆、万事物事が進行するようと思われるがあくまで独立採算制で活動しており、

調べると最年長者の岡田芳一氏（西令川・S9卒業・87歳）を筆頭にした八十五歳代は十八名（三%）で七十歳代は三三名（五%）、六十歳代は五十五名（七%）、五十歳代は八三名（十二%）、四十歳代は九一名（十四%）、三十歳代は一六六名（二六%）、二十歳代は一七六名（二七%）、十九歳は十七名（二%）の合計六三八名となる。

が座を盛り上げ、足音のカラオケもすっかり影を潜め談笑に終始した。そんな中、初参加の朝田隆義氏（桑津・S30卒）と児島熙氏（田辺・S33卒）に支部幹事としての協力を依頼すると両氏共に快く承諾して下さる。これも小人数故の副産物なのかも知れない。

終宴に近づき鬼追常任幹事長の「万歳三唱」があり、米田副支部長の「閉会の挨拶」で無事閉会した。

本部同窓会の組織強化対策の一環として、四年前にモテル支部としスタートした東住吉支部は、19地区（矢田・住道矢田・公園南矢田・照ヶ丘矢田・湯里・中野・針中野・駒川・鷹合・田辺・東田辺・南田辺・北田辺・山坂・今川・西今川・津・杭・全・今林）からなり、卒業会員は平成十年は六六六名、平成十二年は六五五名、平成十四年は六三八名であり、卒業の新会員より物故及び転出の方が多いのかこれも減少している。

教職員OB会

参加者が少ないと通信費だけでも大幅なる赤字となる。少なければ存続を危惧されるが、『継続は力なり』を座右の銘とし、『協力は強力なり』の信念で支部幹事が一致団結し、同窓会のお荷物にならないようしたい。

関東支部、東住吉支部に続く支部が誕生することを願い、それらが同窓会の根幹となりサポートする体制組織が理想と信じ、平成十五年の創立百周年を契機に前進できるように取り組みますので今後もご支援お願い致します。

第七回教職員OB会総会が、六月二十日に上六の南海飯店で開催された。最初に物故教職員に対しても黙祷の後、守井俊司OB会長の挨拶、続いて来賓、井内博見学園理事長、和田貞夫同窓会会長の挨拶、新入会員の挨拶、活動経過報告、会計報告と続き、懇親会に移つた。懇親会では各自の近況報告、在職当時の想い出等が話された。その中で、出席者が少ないのはいろいろ事情もあるうが、勤めていた時の人間関係も一因ではなかろうか？又、平成十五年に創立百周年を迎えるが、校祖遠藤二吉先生の『徳器成就』の精神が大事ではないのだろうか？以前に作家の田辺聖子さんが、卒業生で柳作者の岸本水府氏の思い出・成器商業学校のことを書いておられるが、旧校舎の校長室に水府さんの「校歌ひびく松も柳もみな若かし」の額が掛かっていたが今はどうなつてているのか？等々が話題になつた。

歴史は創立時より現在に続いており、OB会と学園の意見交換の場が有つても良いのではないか、「温故知新」の心が大事ではないかということで、次年度の再会を約して終わつた。

同窓生短信

近況報告

(平成14年卒) 兼 松 隆 紀
僕は奈良大学で社会学を勉強しています。
14年卒の皆さんまた機会があれば皆で
集まり同窓会を開きましょう。

(平成13年卒) 杉 田 英
「こんにちは、大阪芸術高等学校平成
13年度卒杉田です。私はただいま関西大学文学部哲学科に
所属し、仏教を学んでいます。その中で
詩吟部で教わった「一生初心」の心すっ
しりと重たく、また、その言葉のもつ深
みを知られています。これからも耳馴
省になる時は初心忘るべからずを旨とし
菩提心を起して日々精進に励みたいと思
います。」

(平成12年卒) 德 山 一 興
僕は今、追手門学院大学に行っています。
現在、3回生です。大学生生活は自由
な時間がたくさんあります。ほとんど友
達と遊んでいますが、今は簿記の勉強を
してあり、今後の就職活動に役立てよう
と日々努力しています。

(平成14年卒) 河 合 達 也
今、僕は本を読むことに夢中です。ク
ラブやアルバイトをしていないので、多
くの時間を読書に費やす日が続いていま
す。最近では、月に五冊読むことも多く
なりました。小説が中心ですが、自分は
商業を学ぶ学部にいるので、ビジネス書
なんかも読むことがあるのです。
現在の生活を始めてからもう半年が過
ぎたので、そろそろ新しいことに挑戦し
ようと思っているところです。

同窓会活動報告

④同窓会青年部活動報告
青年部副部長 西田 純

①平成14年度行事計画予定 (案)
副会長 西野仁彦

②平成14年度予算 (案)
副会長・会計 井原靖二

③役員・委員人事について
会長 和田貞夫

④役員会於、本校三階教室
出席者十九名

⑤役員会於、本校会議室
出席者十六名

⑥役員会於、本校会議室
出席者二十三名

⑦役員会於、本校会議室
出席者五十二名

⑧閉会の挨拶 副会長 田仲弘義

⑨役員会於、長居パークホテル
司会

⑩開会の挨拶 副会長 金谷道雄

⑪会長挨拶 会長 和田貞夫

⑫来賓挨拶 理事長 井内博見

⑬乾杯

⑭懇親会

⑮吹奏楽部演奏

⑯交歓

⑰校歌齊唱

⑲同窓会の歌齊唱

⑳万歳三唱

㉑閉会の挨拶 副会長 米田耕作

㉒天神祭り観覧

㉓高野山参拝一泊と高野模の湯温泉旅行

㉔キャッスルホテル錦城閣 参加者二十名

㉕平成14年8月3日 (土) ~4日 (日)
高野山参拝一泊と高野模の湯温泉旅行
参加者21名

㉖平成14年8月25日 (日) 午後六時~
第三回東住吉支部懇親会 参加者十名

㉗平成14年11月16日 (土) 午後五時三十分~
秋季懇親会於、ニューミュンヘン大使館
忘年会 参加者三十名

- ㉘平成14年12月21日 (土) 午後六時~
於、難波道頓堀ホテル 参加者三十名
- ㉙平成15年1月25日 (土) 午後五時三十分~
新年会於、道頓堀ホテル 参加者十一名
- ㉚平成14年9月7日 (土) 午後一時~
監査 本田重彦
- ㉛平成14年3月23日 (土) 午後一時~
出席者十六名
- ㉜平成14年10月5日 (土) 午後一時~
出席者十九名
- ㉝平成14年11月2日 (土) 午後二時~
出席者十四名
- ㉞平成14年11月2日 (土) 午後二時~
役員会於、本校会議室
出席者十四名
- ㉟平成15年度の各種年間行事予定の
報告について
①総会及び懇親会(平成15年5月17日 (土)
場所:道頓堀ホテル)
- ㉟平成14年度秋季懇親会諸準備最終
チェックについて
①平成14年度秋季懇親会諸準備と発送
名簿確認について
②平成15年度各種年間行事の再検討
平成14年度会報作成委員会
その他
- ㉞役員会於、本校会議室
出席者十六名
- ㉞役員会於、本校会議室
出席者二十三名
- ㉞役員会於、本校会議室
出席者五十二名
- ㉞役員会於、長居パークホテル
司会
- ㉞開会の挨拶 副会長 金谷道雄
- ㉞会長挨拶 会長 和田貞夫
- ㉞来賓挨拶 理事長 井内博見
- ㉞乾杯
- ㉞懇親会
- ㉞吹奏楽部演奏
- ㉞交歓
- ㉞校歌齊唱
- ㉞同窓会の歌齊唱
- ㉞万歳三唱
- ㉞閉会の挨拶 副会長 米田耕作
- ㉞天神祭り観覧
- ㉞高野山普賢院一泊と模の湯温泉旅
行(平成15年8月2日~3日)
場所:道頓堀ホテル
- ㉞秋季懇親会(平成15年11月15日 (土)
場所:道頓堀ホテル)
- ㉞新年会(平成16年1月24日 (土)
場所:道頓堀ホテル)
- ㉞平成14年度 第二回会報作成委員会
出席者六十名
- ㉞平成14年11月16日 (土) 午後五時三十分~
秋季懇親会於、ニューミュンヘン大使館
忘年会 参加者三十名
- ㉞平成15年1月25日 (土) 午後五時三十分~
新年会於、道頓堀ホテル 参加者十一名

青年部歓迎会

春から夏に向かい、まだ高校生活が懐かしい五月十一日（土）に「御用」にて歓迎会を行ないました。

親のもとを離れて就職するものがあつたり、実家から大学に通うものもいたりと、進路はみんなバラバラになっているけど高校生に戻ったような感じで楽しく盛り上がっていました。

自然に笑顔がこぼれ、みんな和気藹々と楽しそうにしていてくれたので大成功だと思いました。

よい思い出ができるなどといい感想が返ってきたのでこれから毎年行なうつきたいと思っています。

参加者：二十名



青年部歓迎会

年は学校が百周年ですので、第二回のコンペは盛大にし、景品も豪華にしようと考えておりますのでは是非とも初心者の方でもご参加をお待ちしております。

最初は緊張するかもしれません、参考されている先輩方とフレーをすることで心が和み、勉強になる話を聞かせてもらい、有意義な一日がありました。

これからも続けていき、このような経験を数多くの方にしていただきたいと思っておりますので、支援のほどを宜しくお願いいたします。

参加人数：七名



第2回ゴルフコンペ

ゴルフコンペ

すばらしい天候に恵まれて、六月十一日（水）にクロワールゴルフ場にて青年

部主催の第一回ゴルフコンペを開催いたしました。

年配の方だけでなく、「ゴルフ初心者の方、そして去年に引き続きまして、井内理事長、そして本年度は、鈴木先生も参加していただけて、大変良かったと思いました。少ない人数で行なつましたが、本

キャンプ&BBQ&花火大会

青い空の下、八月二十四日（土）にワゴン車に乗り込み、途中買い物出しを済ませ岩湧山の中腹にあるキャンプ場に向かいました。到着して、テント班と食事班とに分かれ作業をしました。

バーベキューをしながらみんなで夜空のもとで話をしたり、花火をして夏の最後に楽しい思い出を作ることができてとてもよかったです。

はやく一年が過ぎて、またこうしてみんなで楽しいキャンプをしたいと思っています。次回は皆さんもご参加ください。

参加人数：十五名



キャンプ&BBQ&花火大会

平成16年
同志会

活動



青年部総会 第2回秋季懇親会

友達や先輩たちと一緒に久しぶりに会うきつ
かけになる懇親会を十月二十六日（土）
に開催しました。

そして食堂で食事をしながら懐かしい
友人たちと打ち解けあっていく姿を見て、
今年も大成功で終り、そしてこれからも
続けていき、多くの同志生と会えるきっ
かけにしていきたいと思っていますので
ご参加のほどをよろしくお願いします。

参加人数：四十五名



青年部総会 第2回秋季懇親会



創立百周年記念号発刊
おめでとうございます。
青年部の大きな発展を夢見て、同志会活動に楽しくご参
加下さい。
学(まなぶ)くんも待っています。
※同志会ホームページと
Eメールは準備中です。
いずれも2003年4月1日
頃開設する予定です。

《平成15年4月～平成16年3月 青年部行事・活動予定》

4月	19【土】	14:00から	役員会（同志会室）
5月	10【土】	13:00から	青年部歓迎会（御用）
6月	未定	未定	第3回ゴルフコンペ（未定）
	21【土】	14:00から	役員会（同志会室）
7月	19【土】	14:00から	役員会（同志会室）
8月	23【土】・24【日】	昼に集合	キャンプ＆BBQ＆花火大会（岩湧山）
9月	20【土】	14:00から	役員会（同志会室）
10月	18【土】	14:00から	役員会（同志会室）
	25【土】	14:30から	秋季懇親会（総会：ホール、懇親会：食堂）
11月	15【土】	14:00から	役員会（同志会室）
12月	13【土】・14【日】	昼ごろ	旅行（未定）
1月	17【土】	14:00から	役員会（同志会室）
2月	14【土】	14:00から	役員会（同志会室）17:00～ボーリング大会（中百舌鳥ワコーレーン）予定
	21【金】	11:00から	委嘱状伝達式（体育館）
3月	13【土】	14:00から	役員会（同志会室）
備考	※諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させて頂きますので下記宛お申込み下さい。 FAX・葉書にて卒業期・年度と住所・ご貴名・TEL等ご記入の上ご送付下さいましたら案内状を送付させて頂きます。 宛先 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15 大阪学芸高等学校 成器学園同志会青年部 TEL 06-6693-6301 FAX 06-6693-5173 ※やむをえない事情により日程を変更することもあります。		

創立百周年記念にあたり

学園に金五百萬円寄贈

役員・委員会で何度も協議を重ね、平成十四年五月十八日（土）の定期総会に於いて、満場一致で寄贈金額が承認されました。

平成十四年五月二十五日（土）和田会長より井内理事長に贈呈されました。

理事長より本学園の更なる発展に役立てるべく、有意義に活用させて戴きますと感謝のお言葉を頂戴しました。

学園のますますの発展を祈りご報告申し上げる次第です。



母校の創立百周年を迎える「同窓会として取り組むべきことは何だろうか」と頭に描いて見ましたが、校祖遠藤三吉先生の教訓を継承してきた私たち卒業生が約三万名、約五百名の法人関係者と教職員並びにPTA役員を始め学園関係者の全物故者を祀る「学園関係物故者之慰靈碑」を建立することを想い、「これだ」と考えました。是非役員会で検討する課題として審議に付したいと思います。決定の上具体化する運びになった節は是非同級生が一丸となつてご協力をいただきたいと存じます。

和田貞夫

「学園関係物故者之慰靈碑」の建立を検討課題にしよう!!

《平成15年8月発刊予定!! 新刊会員名簿へのご協力とお願い》

今年は、創立100周年記念版として新刊「会員名簿」の発刊を予定しております。

前回の「会員名簿」発行から5年が経過していることもあります。会員の皆様の異動もかなりございます。

つきましては、従前より同窓会の「会員名簿」作成を委託しております株式会社アーツ（旧中央出版印刷㈱）より会員の皆様に調査用の往復ハガキを送付させていただく予定でございます。会員の皆様には情報更新及び情報提供のご協力をお願い申し上げるとともに、この度の名簿と広告のお申し込みをぜひとも賜りたく思います。

何卒よろしくお願い申し上げます。

祝 創立100周年記念
平成15年度の年間行事のご案内

同窓会では、次の通り平成十五年度の年間行事を開催致します。振って「」参加下さい。

● 総会及び懇親会

平成十五年五月十七日（土）（場所：道頓堀ホテル） 四時～総会 六時～懇親会

● 高野山普賢院一泊と槇の湯温泉旅行

平成十五年八月一日（土）～三日（日）

● 秋季懇親会

平成十五年十一月十五日（土）（場所：道頓堀ホテル） 五時三十分集合 六時開会

● 新年会

平成十六年一月二十四日（土）（場所：御用うどん）

※諸行事に参加ご希望の方には案内状を送付させていただきますので、左記宛お申込み下さい。

FAX・葉書にて卒業期・年度と住所・ご賀名・T.E.I.等ご記入の上、「」送付下さい。
いましたら、案内状を送付させていただきます。

宛先 平558-0003 大阪市住吉区長居一丁目四十五

学校法人 大阪学芸高等学校

成器学園同窓会

TEL〇六（六六九三）六三〇一
FAX〇六（六六九三）五一七三

※やむをえない事情により日程を変更することもありますので、参加ご希望の方は
その都度役員にお聞き下さい。

修学旅行の今昔



平成 15 年度 成器学園同窓会への 募金につきご支援方 お願ひ

平素は、成器学園同窓会に対し物心両面に亘り、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

平成十四年度（平成十四年一月一日～平成十四年十一月三十日まで）募金事業は、募金者数百十四名、金額九一、二九五円に達する多額のご寄付をお寄せ頂きました。

この募金にご協力頂きました方々のご芳名を13頁に記載させて頂きました。ここに、改めて深く感謝の意を表します。

既にご承知の通り、未だに低迷が続く景気、依然最悪の水準にある失業率、雇用不安の経済情勢の中では、募金の集まりが悪くなるのも致しかつて思われますが、同窓会報を通じ母校と同窓生との心の絆をしつかりと結びつけていくために、更に今年度正に一生に一度の名誉ある学園創立百周年を迎えることになり同窓会ども可能な限り募金活動は続けて実施します。

同窓会が健全で活発に運営されている

学校は、世間の評判も良好です。この会報を全同窓生にお届けすることで、最近の学園発展の様子を知ってもらい、母校への关心を高めて頂き、同時に同窓会活動にもご理解とご協力を得たいと考えております。

平成八年度からは、特別年会費もお願ひし、これからも自助努力で会報の発行を継続するため、同窓会各位の積極的なご支援、同窓会活動の活発化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、ご協力、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

委員	募金先	財政委員長
員本部長	成器学園同窓会	田中 敏文
寺下 達也	平成十五年度募金事業本部	（高校二十四期卒業）
米田 久和	連絡先	〒588-0003
上野寅次郎	募金主体	成器学園同窓会
本田重彦	募金方法	一口一万円口数制限なし
和田雅男	渡壁辰夫	（元校長）
正治耕作	一丁目四番十五号	
良介	大阪市住吉区長居	
康和人	浅野定岡	
光彦	堀山畠山	
仁三	秋本裕	
和好	藤本正雄	
人彦	信田敦	
之好	高津清光	
	田代治	
	藤次（昭和15年）	
	（昭和16年）	
	（昭和17年）	
	（昭和18年）	
	（昭和19年）	
	（昭和20年）	
	（昭和21年）	
	（昭和22年）	
	（昭和23年）	
	（昭和24年）	
	（昭和25年）	
	（昭和26年）	
	（昭和27年）	
	（昭和28年）	
	（昭和29年）	
	（昭和30年）	
	（昭和31年）	
	（昭和32年）	
	（昭和33年）	
	（昭和34年）	
	（昭和35年）	
	（昭和36年）	
	（昭和37年）	
	（昭和38年）	
	（昭和39年）	
	（昭和40年）	
	（昭和41年）	
	（昭和42年）	
	（昭和43年）	
	（昭和44年）	
	（昭和45年）	
	（昭和46年）	
	（昭和47年）	
	（昭和48年）	
	（昭和49年）	
	（昭和50年）	
	（昭和51年）	
	（昭和52年）	
	（昭和53年）	
	（昭和54年）	
	（昭和55年）	
	（昭和56年）	
	（昭和57年）	
	（昭和58年）	
	（昭和59年）	
	（昭和60年）	
	（昭和61年）	
	（昭和62年）	
	（昭和63年）	
	（昭和64年）	
	（昭和65年）	
	（昭和66年）	
	（昭和67年）	
	（昭和68年）	
	（昭和69年）	
	（昭和70年）	
	（昭和71年）	
	（昭和72年）	
	（昭和73年）	
	（昭和74年）	
	（昭和75年）	
	（昭和76年）	
	（昭和77年）	
	（昭和78年）	
	（昭和79年）	
	（昭和80年）	
	（昭和81年）	
	（昭和82年）	
	（昭和83年）	
	（昭和84年）	
	（昭和85年）	
	（昭和86年）	
	（昭和87年）	
	（昭和88年）	
	（昭和89年）	
	（昭和90年）	
	（昭和91年）	
	（昭和92年）	
	（昭和93年）	
	（昭和94年）	
	（昭和95年）	
	（昭和96年）	
	（昭和97年）	
	（昭和98年）	
	（昭和99年）	
	（昭和00年）	
	（昭和01年）	
	（昭和02年）	
	（昭和03年）	
	（昭和04年）	
	（昭和05年）	
	（昭和06年）	
	（昭和07年）	
	（昭和08年）	
	（昭和09年）	
	（昭和10年）	
	（昭和11年）	
	（昭和12年）	
	（昭和13年）	
	（昭和14年）	
	（昭和15年）	
	（昭和16年）	
	（昭和17年）	
	（昭和18年）	
	（昭和19年）	
	（昭和20年）	
	（昭和21年）	
	（昭和22年）	
	（昭和23年）	
	（昭和24年）	
	（昭和25年）	
	（昭和26年）	
	（昭和27年）	
	（昭和28年）	
	（昭和29年）	
	（昭和30年）	
	（昭和31年）	
	（昭和32年）	
	（昭和33年）	
	（昭和34年）	
	（昭和35年）	
	（昭和36年）	
	（昭和37年）	
	（昭和38年）	
	（昭和39年）	
	（昭和40年）	
	（昭和41年）	
	（昭和42年）	
	（昭和43年）	
	（昭和44年）	
	（昭和45年）	
	（昭和46年）	
	（昭和47年）	
	（昭和48年）	
	（昭和49年）	
	（昭和50年）	
	（昭和51年）	
	（昭和52年）	
	（昭和53年）	
	（昭和54年）	
	（昭和55年）	
	（昭和56年）	
	（昭和57年）	
	（昭和58年）	
	（昭和59年）	
	（昭和60年）	
	（昭和61年）	
	（昭和62年）	
	（昭和63年）	
	（昭和64年）	
	（昭和65年）	
	（昭和66年）	
	（昭和67年）	
	（昭和68年）	
	（昭和69年）	
	（昭和70年）	
	（昭和71年）	
	（昭和72年）	
	（昭和73年）	
	（昭和74年）	
	（昭和75年）	
	（昭和76年）	
	（昭和77年）	
	（昭和78年）	
	（昭和79年）	
	（昭和80年）	
	（昭和81年）	
	（昭和82年）	
	（昭和83年）	
	（昭和84年）	
	（昭和85年）	
	（昭和86年）	
	（昭和87年）	
	（昭和88年）	
	（昭和89年）	
	（昭和90年）	
	（昭和91年）	
	（昭和92年）	
	（昭和93年）	
	（昭和94年）	
	（昭和95年）	
	（昭和96年）	
	（昭和97年）	
	（昭和98年）	
	（昭和99年）	
	（昭和00年）	
	（昭和01年）	
	（昭和02年）	
	（昭和03年）	
	（昭和04年）	
	（昭和05年）	
	（昭和06年）	
	（昭和07年）	
	（昭和08年）	
	（昭和09年）	
	（昭和10年）	
	（昭和11年）	
	（昭和12年）	
	（昭和13年）	
	（昭和14年）	
	（昭和15年）	
	（昭和16年）	
	（昭和17年）	
	（昭和18年）	
	（昭和19年）	
	（昭和20年）	
	（昭和21年）	
	（昭和22年）	
	（昭和23年）	
	（昭和24年）	
	（昭和25年）	
	（昭和26年）	
	（昭和27年）	
	（昭和28年）	
	（昭和29年）	
	（昭和30年）	
	（昭和31年）	
	（昭和32年）	
	（昭和33年）	
	（昭和34年）	
	（昭和35年）	
	（昭和36年）	
	（昭和37年）	
	（昭和38年）	
	（昭和39年）	
	（昭和40年）	
	（昭和41年）	
	（昭和42年）	
	（昭和43年）	
	（昭和44年）	
	（昭和45年）	
	（昭和46年）	
	（昭和47年）	
	（昭和48年）	
	（昭和49年）	
	（昭和50年）	
	（昭和51年）	
	（昭和52年）	
	（昭和53年）	
	（昭和54年）	
	（昭和55年）	
	（昭和56年）	
	（昭和57年）	
	（昭和58年）	
	（昭和59年）	
	（昭和60年）	
	（昭和61年）	
	（昭和62年）	
	（昭和63年）	
	（昭和64年）	
	（昭和65年）	
	（昭和66年）	
	（昭和67年）	
	（昭和68年）	
	（昭和69年）	
	（昭和70年）	
	（昭和71年）	
	（昭和72年）	
	（昭和73年）	
	（昭和74年）	
	（昭和75年）	
	（昭和76年）	
	（昭和77年）	
	（昭和78年）	
	（昭和79年）	
	（昭和80年）	
	（昭和81年）	
	（昭和82年）	
	（昭和83年）	
	（昭和84年）	
	（昭和85年）	
	（昭和86年）	
	（昭和87年）	
	（昭和88年）	
	（昭和89年）	
	（昭和90年）	
	（昭和91年）	
	（昭和92年）	
	（昭和93年）	
	（昭和94年）	
	（昭和95年）	
	（昭和96年）	
	（昭和97年）	
	（昭和98年）	
	（昭和99年）	
	（昭和00年）	
	（昭和01年）	
	（昭和02年）	
	（昭和03年）	
	（昭和04年）	
	（昭和05年）	
	（昭和06年）	
	（昭和07年）	
	（昭和08年）	
	（昭和09年）	
	（昭和10年）	
	（昭和11年）	
	（昭和12年）	
	（昭和13年）	
	（昭和14年）	
	（昭和15年）	
	（昭和16年）	
	（昭和17年）	
	（昭和18年）	
	（昭和19年）	
	（昭和20年）	
	（昭和21年）	
	（昭和22年）	
	（昭和23年）	
	（昭和24年）	
	（昭和25年）	
	（昭和26年）	
	（昭和27年）	
	（昭和28年）	
	（昭和29年）	
	（昭和30年）	
	（昭和31年）	
	（昭和32年）	
	（昭和33年）	
	（昭和34年）	
	（昭和35年）	
	（昭和36年）	
	（昭和37年）	
	（昭和38年）	
	（昭和39年）	
	（昭和40年）	
	（昭和41年）	
	（昭和42年）	
	（昭和43年）	
	（昭和44年）	
	（昭和45年）	
	（昭和46年）	
	（昭和47年）	
	（昭和48年）	
	（昭和49年）	
	（昭和50年）	
	（昭和51年）	
	（昭和52年）	
	（昭和53年）	
	（昭和54年）	
	（昭和55年）	
	（昭和56年）	
	（昭和57年）	
	（昭和58年）	
	（昭和59年）	
	（昭和60年）	
	（昭和61年）	
	（昭和62年）	
	（昭和63年）	
	（昭和64年）	
	（昭和65年）	
	（昭和66年）	
	（昭和67年）	
	（昭和68年）	
	（昭和69年）	
	（昭和70年）	
	（昭和71年）	
	（昭和72年）	
	（昭和73年）	
	（昭和74年）	
	（昭和75年）	
	（昭和76年）	
	（昭和77年）	
	（昭和78年）	
	（昭和79年）	
	（昭和80年）	
	（昭和81年）	
	（昭和82年）	
	（昭和83年）	
	（昭和84年）	
	（昭和85年）	
	（昭和86年）	
	（昭和87年）	
	（昭和88年）	
	（昭和89年）	
	（昭和90年）	
	（昭和91年）	
	（昭和92年）	
	（昭和93年）	
	（昭和94年）	
	（昭和95年）	
	（昭和96年）	
	（昭和97年）	
	（昭和98年）	
	（昭和99年）	
	（昭和00年）	
	（昭和01年）	
	（昭和02年）	
	（昭和03年）	
	（昭和04年）	
	（昭和05年）	
	（昭和06年）	
	（昭和07年）	
	（昭和08年）	
	（昭和09年）	
	（昭和10年）	
	（昭和11年）	
	（昭和12年）	
	（昭和13年）	
	（昭和14年）	
	（昭和15年）	
	（昭和16年）	
	（昭和17年）	
	（昭和18年）	
	（昭和19年）	
	（昭和20年）	
	（昭和21年）	
	（昭和22年）	
	（昭和23年）	
</td		

温かいご寄付に感謝

寄付金応募者ご芳名録

成器学園同窓会・募金事業へのご支援を
本会報を通じ、同窓生の皆様にお願いいた
しましたところ多數の皆様から温かいご寄
付を頂戴いたしております。

こゝにご芳名を掲げ深く感謝の意を表し
ます。

③平成十四年一月一日以降平成十四年十一
月三十日までの受付分(到着順)

寄付者 百四名

金額 九十一万一千二百九十五円

西野 仁蔵様(昭和34年卒)大阪市東住吉区

中山慶次郎様(昭和13年卒)大阪市阿倍野区

飯田八四郎様(昭和11年卒)川崎市

吉田 末廣様(昭和16年卒)大阪市住之江区

田中 明成様(平成4年卒)泉南郡

田中 邦洋様(平成3年卒)泉南郡

松田 和人様(昭和41年卒)和泉市

松田 和人様(昭和41年卒)和泉市

久保 義男様(昭和22年卒)堺市

和田 貞夫様(昭和19年卒)堺市

市

小原 泰次様(昭和50年卒)堺市

市

岸 伸一郎様(昭和21年卒)泉山市

市

数田 政宏様(昭和50年卒)南河内郡

新山 芳賀様(昭和21年卒)石狩市

市

高曾 幸延様(平成2年卒)泉大津市

長見 浩佳様(平成11年卒)貝塚市

市

大田 良雄様(昭和15年卒)那覇市

平野 寛義様(昭和40年卒)貝塚市

市

附 木村泰成様(平成13年卒)大阪市平野区

寺島 正也様(昭和39年卒)大阪市住吉区

市

平松 繁義様(昭和19年卒)堺川市

大野 均様(昭和46年卒)大阪市東住吉区

市

泰山 明様(昭和38年卒)福岡市

安田 正光様(昭和20年卒)大阪市東住吉区

仲本美代建築様(昭和13年卒)大阪市東住吉区

市

井内 博範様(昭和25年卒)松原市

前川 正明様(昭和37年卒)泉北郡

市

田中 敏文様(昭和47年卒)堺市

高田 良造様(昭和43年卒)大阪市中央区

市

鶴志田長次郎様(昭和21年卒)大阪市西区

寺島 正也様(昭和39年卒)大阪市住吉区

市

尼川 隆三様(昭和31年卒)大阪狭山市

高木 俊郎様(昭和40年卒)貝塚市

市

田村 尚貴様(平成12年卒)泉北郡

伊丹 啓次様(大正14年卒)豊中市

市

小堀和市郎様(昭和19年卒)大阪市平野区

植田健太郎様(昭和16年卒)堺市

市

吉田圭一郎様(昭和59年卒)大阪市住吉区

植田 勝太郎様(昭和16年卒)堺市

市

巣田 桂枝様(昭和17年卒)鎌倉市

山上佳久三様(昭和20年卒)寝屋川市

市

吉村 奉男様(昭和20年卒)大阪市東住吉区

脇 齋様(昭和35年卒)泉南郡

市

北角 辰男様(昭和22年卒)尼崎市

伊丹 耕治様(昭和43年卒)八尾市

市

松村 光二様(昭和34年卒)岡山市

森 進一様(昭和15年卒)神戸市

市

落合 重行様(昭和17年卒)泉州南市

坂田 實様(昭和14年卒)大阪市旭区

市

杉本 勝治様(昭和33年卒)堺市

村田 一治様(昭和16年卒)茨木市

市

高野 博志様(昭和60年卒)大阪市西淀川区

中谷 忠男様(昭和10年卒)新宮市

市

井上隆一郎様(昭和20年卒)大阪市城東区

高野 光男様(昭和11年卒)大阪市住之江区

市

北島義弥様(昭和37年卒)堺市

田仲 弘義様(昭和22年卒)大阪市阿倍野区

市

川田 峰夫様(昭和20年卒)堺市

森 勝好一様(昭和16年卒)大阪市中央区

市

北島利一部様(昭和7年卒)神戸市

谷口 誠亮様(昭和33年卒)泉州佐野市

市

堀田 好一様(昭和4年卒)大阪狭山市

沢崎 市郎様(昭和26年卒)泉大津市

市

浅田 栄三様(昭和11年卒)大阪狭山市

高木 康之様(平成3年卒)名張市

市

森田 弘光様(昭和48年卒)羽曳野市

平野 正治様(昭和36年卒)大阪市西成区

市

中村 凡夫様(昭和16年卒)東京都杉並区

高木 康之様(平成3年卒)名張市

市

北村 裕次郎様(63年卒)堺市

浅田 栄三様(昭和10年卒)岸和田市

市

中山雅次郎様(昭和13年卒)大阪市住吉区

森下 正吉様(昭和13年卒)大阪市平野区

市

吉田 木廣様(昭和16年卒)大阪市住之江区

北村 駿行様(昭和61年卒)堺市

市

田中 朋成様(平成4年卒)泉南郡

森田 弘光様(昭和26年卒)京田辺市

市

田中 邦洋様(昭和42年卒)高石市

上田 和平様(昭和28年卒)茨木市

市

池田 昌義様(昭和46年卒)大阪市東住吉区

森下 正吉様(昭和17年卒)奈良市

市

井上佐治湖様(昭和42年卒)高石市

北村 宏様(昭和20年卒)大阪市西成区

市

吉田 秀穂様(昭和12年卒)堺市

木村佐喜夫様(昭和14年卒)奈良市

市

森 英明様(昭和16年卒)大阪市生野区

金哲雄様(昭和42年卒)大阪市東淀川区

市

和田 貞夫様(昭和22年卒)堺市

安間幸次郎様(昭和19年卒)豊中市

市

和田 貞夫様(昭和19年卒)堺市

岸野 幹三様(昭和14年卒)間山市

市

和田 貞夫様(昭和19年卒)堺市

田中 弘義様(昭和22年卒)大阪市阿倍野区

市

平成十三年度 決算報告

○平成13年4月1日から平成14年3月31日迄の收支決算
財産目録は左記の通りです。

○収支明細について概要を説明します。

○収入面は、平成14年3月の卒業生から納付された会費が
三十七万円、同窓会員各位から寄せられた会員料、寄付金(基金等)
が四万円(四百円で構成)、会員料半額と例別会計会員料等で
は一八五三千円で支出の六四・二%を占めています。次いで
学園の諸行事(入学式、体育祭、吹奏楽部の定期演奏会、
體操筋筋パレード、空手道部のインター杯出場、近畿大会出

(単位:円)			
収入の部		(単位:円)	
科 目	決 算 額	予 算 額	対予算比率割合
会 贻	1,710,000	2,000,000	▲ 299,000 @2,000×342名
年 会 費	1,037,000	1,500,000	▲ 463,000 @2,000×76名 @3,000×295名
寄付金(第3金) 収入	980,295	1,500,000	▲ 519,705 119名
広 告 料 収 入	450,000	360,000	90,000 会報1コマ×3万円
使 用 料 収 入	2,326	6,000	▲ 3,674 定期預金利息・普通預金利息
雑 収 入	19,000	10,000	9,000 会員名簿代 3冊分
特別会計剰余金	419,940	150,000	269,940 春季講習会精算残金158,875円 天神祭精算残金46,895円
収 入 計	4,569,061	5,535,000	▲ 935,939 高野山行灯精算残金77円 秋季講習会精算残金214,360円
前 期 剰 余 金	12,837,472	12,837,472	0
合 计	17,436,533	18,370,472	▲ 935,939

科 目	決 算 額	予 算 額	割合(%)	備 考	
				単位:円	
総 会 費	183,128	250,000	▲ 56.872	総会懇親会費、会場費、記念品代、総会賑興	
役 会 費	0	50,000	▲ 50,000		
業 事 費	168,425	350,000	▲ 181,575		
印 刷 費	1,945,268	2,000,000	▲ 54,723	記念品代「学苑」10回版、各行事案内印刷	
通 信 費	1,333,253	1,500,000	▲ 166,747	同窓会報「10年絆」10回版、各会員会員名内、郵便料金改定都送料	
広 告 宣伝 費	0	50,000	▲ 50,000		
文 書 費	66,847	50,000	19,847	文書用、名刺、礼状	
耗 材 費	0	380,000	▲ 380,000		
寄 費	150,000	350,000	▲ 150,000		
記念品 費	66,847	200,000	▲ 113,153	体育祭祝金、常手道場、収集楽団への活動費助成	
支 払 手数料	68,976	80,000	▲ 11,024	卒業証書丸角、返送教務員記念品、新卒学生幹事会記念品	
旅 費 文 游 費	30,000	100,000	▲ 70,000	寄会費会の口座へ込手数料、銀行往來手数料、預貯金取扱手数料	
青 年 部 会 費	300,000	300,000	0	東美支部総会出席旅泊食費、手すき青年会員選出文書費(タクシード)、活動資金支援	
相 準 公 仔 費	460	0	460	受取利息に対する返却料、地方税	
被 備 費	94,281	50,000	44,281	会報表紙デザイン料、懇親会写真費用(フィルム・DPE)、コピー	
予 備 費	0	100,000	▲ 100,000		
支 出 計	4,440,265	5,740,100	▲ 1,299,835		
差 金 余 入	7,500,000	7,500,000	0		
次 期 前 期 余 入	5,296,268	4,902,472	303,796	平成12年度剩余金25分額	
合 计	13,236,632	18,139,472	▲ 901,939		

財產目錄

1. 経済財産（経営計画）

平底14年3月31日現在

项目	平均11年度	平均12年度	前年比增減
手元現金（金 券）	83,479	214,866	▲ 131,387
手元預金（大 元、新、圓、台 幣）	172,057	237,120	▲ 65,063
普通預金（三 井住友及銀行、西 田、四、支、店）	4,890,220	3,930,997	-759,223
普通預金（近畿 大阪、阪急、西和 心、近畿、邊境）	29,668	0	+29,668
預付賃貸（長 崎、沖繩、鹿 兒島、奄美、普 吉）	166,460	769,320	▲ 602,860
郵便振替（長 崎、福岡、熊 本、宮崎、鹿 兒島、沖繩）	184,370	0	+184,370
其他	6,708,768	6,513,933	-194,835

日 楽 金 (平成12年暮刊合集33公演)

	平成18年度	平成17年度	前年比増減
①支 宅	7,550,000	5,642,381	↑ 1,907,519
②資 本	0	686,288	▲ 686,288
③合 计	0	1,567,510	▲ 1,167,510
△ 年次比較	△ 7,550,000	△ 5,642,381	△ 1,907,519

刺全金鉄分計算表

课时 11 年 5 月 18 日

项目	金额
1. 当期未分配剩余金	5,298,268
2. 剩余金分配额	
(1) 基金追入额	0
(2) 次期递延剩余金	5,298,268

安全系数纳入状况

Digitized by srujanika@gmail.com

基金集叢納入

第八章 中国社会文化

平成13年度

年会費納入状況

区分	平成13年度		平成12年度		前年比増減	
	纳入者数	纳入額	纳入者数	纳入額	纳入者数	纳入額
平成11年度分	一	0	4名	8,000	▲4名	▲8,000
平成12年度分	一	0	61名	122,000	▲61名	▲122,000
平成13年度分	76名	182,000	369名	738,000	▲293名	▲556,000
平成14年度分	295名	885,000	—	0	295名	885,000
計	371名	1,037,000	434名	866,000	▲63名	169,000

同窓生各位

成器学園同窓会

会長 和田 貞夫

年会費納入についてのお願い

昨年は経済事情の悪いなか、しかも出費多端な折りにも拘らず、年会費を3,000円に改めさせていただきましたが、同窓生各位の深いご理解とご協力を賜り感謝申しあげます。

さて同窓会の経費で最高の負担は会報発行費（印刷費と郵送費）であります。同窓会報“学芸”こそは全会員（同窓生全員）を対象にした同窓会の事業報告と行事案内を周知する唯一の場であり、これからも継続して行きたいと考えています。

また本年（2003年）は、母校の創立100周年を迎えることになり、学園では多彩な記念行事を企画されつつあります。そのため昨年、同窓会として学園100周年記念事業委員会に500万円を寄贈させていただきました。

更には成器商業学校が創立され第二次世界大戦で校舎が戦災のため焼失するまでの母校の跡地大阪市浪速区戎本町2丁目（旧浪速区馬渉町）に「成器商業学校跡」の記念碑建立や高野山奥の院に「成器学園・大阪学芸関係物故者之慰靈碑（仮称）」の建立等を学園側で検討していただいているところです。

同窓会活動を活発に推進するには何んとしても同窓会財政を充実することです。ここ数年の「年会費」納入状況は次の通りですが、同期の方やお知り合いの卒業生の方に是非働きかけていただき一人でも多くの方々から「年会費」を納入していただくようご協力をお願い致します。

年会費納入状況

年 度	納入者	受入金額
平成10年度 (平10/4/1~ 11/3/31)	573名	1,146,000円
平成11年度 (平11/4/1~ 11/12/31)	83名	166,000円
平成12年度 (平12/1/1~ 12/12/31)	533名	1,066,000円
平成13年度 (平13/1/1~ 13/12/31)	446名	892,000円
平成14年度 (平14/1/1~ 14/11/30)	361名	1,079,000円

なお“年会費”とは別に“同窓会募金事業”にも引き続きご協力の程お願い致します。

つきましては会報に同封しました「払込取扱票」にて“年会費”及び“同窓会募金事業”的払込み方よろしくお願いするとともに払込票の受領証をもって領収証に替えさせて戴きます。

祝創立百周年記念

役員協賛

名 哲 会 長 伊丹 啓 次(1部20期)
会 長 和田 貞 夫(1部39期)
副 会 長 上野 寅次郎(高校9期)
" 田 仲 弘 義(1部42期)
" 米 田 耕 作(高校16期)
" 久 米 雅 男(高校1期)
" 松 田 和 人(高校18期)
" 金 谷 道 雄(高校3期)

副 会 長 兼 東 住 吉 支 部 長
副 会 長 兼 会 計
副 会 長
" 足 立 好 一(高校1期)
" 達 良 介(高校11期)
" 松 村 光 三(高校11期)
副 会 長 兼 青 年 部 部 長

西 野 仁 彦(高校11期)
井 原 靖 二(高校2期)
米 田 弘(1部40期)
寺 下 正 浩(高校35期)

美術印刷・紙器製品
企画・提案・製作

株式会社 ヒラックス

代表取締役 上野寅次郎
(大阪学芸理事・高校9期・昭和32年卒業)
〒542-0062 大阪市中央区上本町西5-2-8
TEL (06)6768-9551 FAX (06)6768-9555
E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp

2003年同窓会よりのお願い

成器学園同窓会は昭和49年に創立され卒業生は約30,000名に及んでいます。年1回の発行ですが継続していくためには、同窓生のご協力が必要です。振込用紙2通を同封いたしますので、あなたと同窓会のためにぜひ年会費と募金のお振込をお願い致します。

※会報に関してご意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会開催などもお知らせいただければ幸いです。

※〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15

成器学園同窓会宛 〒06(6693)6301 FAX 06(6693)5173

※同窓会ホームページとEメールは準備中です。

いずれも2003年4月1日頃開設する予定です。

同窓会 会報発刊後早八年目を迎え、お陰様で関係各位のご協力により平成十五年度会報・学芸第八号を皆様にお届けする事が出来ました。
今年はいよいよ本校は創立百周年を迎えます、二十一世紀の幕開けと共に大阪学芸も二〇〇二年度から全学年で男女共学となり教育業界鐵しき折にもかかわらず中学・高校共に多数の応募・入学者があり又進学も国公立・難関私学・有名私立の各合格者も好成績を達成された事に対し学園関係者の方々に深く感謝致す次第であります。

あとがき

一方同窓会青年部の活発な活動もインターネット・同窓会ホームページ開設等に対しての努力にも敬意を表する次第であります。

本年こそ学園・PTA・同窓会・学園関係者が一体となり輝かしい創立百周年となるよう諸兄と共に祈念致したいと思います。最後になりましたが、ご寄稿頂きました皆様方並びに広告掲載にご協力頂きました方々に深く御礼申し上げます。

終わりに皆様方のご健康と御多幸を心からお祈り致しましてあとがきのご挨拶とさせて頂きます。

副会長 金谷 道雄

平成15年度（創立百周年記念） 同窓会総会 及び 懇親会

日時 5月17日（土）（忘れないように、手帳・カレンダー）
にメモをしておいて下さい。

《総会》4時より《懇親会》6時より
会費 ¥6,000円

会場 道頓堀ホテル

TEL 06-6213-9040（地下鉄御堂筋線ナンバ駅24番出口）

大阪市中央区道頓堀2丁目3番25号

各線ナンバ駅より徒歩3分、ニュージャパン西隣

- 出席して頂ける方は同封はがきにてお知らせ下さい。（総会に出席できない方でも、懇親会だけでも気軽にご出席下さい）
- 懇親会の出席の方にはお楽しみ参加賞をご用意致しております。

同窓会名誉会長 伊丹 啓次 (1部20期・大正14年卒業) 株式会社明ビル社長・大阪学芸顧問 〒561-0814 豊中市豊南町東3-14-4 TEL 06(6331) 0745	税務・労務・法律・行政をはじめ 中小企業者のあらゆる相談は… 大阪中小企業経営センター 理事長 和田貞夫 同窓会会长 (大阪学芸顧問・1部20期・昭和19年卒業) 〒551-0013 大阪市北区若狭町2丁目1番1 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail: keren@mbi.kisanweb.com URL: http://www.kisanweb.jp/kisancenter	学校法人 大阪学芸 理事長 井内博見 (高校2期・昭和25年卒業) 〒580-0043 松原市阿保4-10-25 TEL・FAX (072) 332-5648	株式会社 渡壁 (マンション・ストワール弁天) 代表者 渡壁辰夫 (元校長 2部22期・昭和11年卒業) 〒552-0012 大阪市港区市岡元町3-4-5 TEL (06) 6583-4929・0674
足立硝子株式会社 〒556 大阪市淀川区大橋東2-1-14-2-5 TEL 06(6331) 5625 〒562 名古屋市北区若宮山町2丁目1番1 TEL 052(219)2-6556 FAX (052)913-0120 代表取締役会長 足立 好一 (高校1期・昭和24年卒業) 学校法人大阪学芸顧問・成器学園同窓会副会長	アルミニウム・マグネシウム (材料、加工品) 表面処理 植田アルマイ特工業株式会社 代表取締役 植田健太郎 (1部36期・昭和16年卒業) 本社工場・便賈工場・三重工場 E-mail: uss-into@uedamaito.co.jp ホームページ: www.uedamaito.co.jp	社会福祉法人いわき学園理事長 財団法人住吉名勝保存会理事長 高野光男 (2部22期・昭和11年卒業) 〒580-0013 大阪市住之江区御崎1-6-29 TEL (06) 6681-1800#0	鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品の取り扱い 西野パイプ株式会社 代表取締役 西野仁彦 (大阪学芸顧問・高校1期・昭和24年卒業) TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 E-mail: nishino-papu@mbox.nifty.com インターネットショップ(West Field): http://w-field.b-smith.jp/
大阪学芸中等教育学校 指定業者 大阪学芸高等学校 有才オオサカユニフォーム 北村裕次 (高校25期生・昭和63年卒業) 〒558-0011 大阪市佐吉区大領2-6-27 TEL (06) 6695-3929 TEL (06) 6695-1599 FAX (06) 6693-9716	電源開発株式会社 磁子火力発電所 構内 洋光産業株式会社 取締役 飯田八四郎 (1部31期・昭和11年卒業) 本社 柏原市疋田新疋田町3-2 〒235-0017 TEL (045) 755-1923 FAX (045) 755-1923 川崎営業所 川崎市川崎区小山3-35-13 〒210-8846 TEL (044) 333-7184 FAX (044) 333-7184	丸善電機産業株式会社 常務取締役 橋本浩行 (大阪学芸顧問・高校18期生・昭和30年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市東淀川区平野西1丁目1番8号 TEL(06)6497-1133#0 FAX(06)6791-1137 中国工場 江森若尾山市進前尼尾工業区進路路 TEL(052)5761-8711 FAX(052)5761-7817 URL: http://www.magnix.co.jp	製パン・製菓用クリーム 惣菜の製造販売 田中食品興業所 代表取締役会長 田中善三郎 (2部28期・昭和17年卒業) 〒590-0012 桃山街道町1丁5番2号 TEL 072(238)0281#0 FAX 072(238)4161

成器学園同窓会

会報「学芸」

第8号

私も頑張ってます、広告にご参加を！

●発行日 平成15年1月26日

●編集 同窓会企画部

●発行所 〒889-0003 大阪市住吉区長居1-4-15
TEL 06(6693)6301 FAX 06(6693)5173

■美術館及びイラスト 作家プロフィール

はら たくみ イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員
(原 球三) テレビ出演等々各種で活躍中

小説家のイラストは「百年の愛恋」

1世纪に亘る学園の歴史から、3万人に及ぶ卒業生を前に送り出し、校名も成蹊学園から大阪学芸（男女共学）へと変わり、未来に伸びる学園の様々な表現と百周年を祝して、制服・校章・校舎等の変遷を卒業証書に託して表現しました。